

令和2年度大田区災害時医療体制の活動報告について

1 情報伝達訓練の実施について

新型コロナウイルス拡散防止の観点から毎年実施している病院の敷地等で行う緊急医療救護所開設・運営訓練の実施が困難となったため、区が区内の病院に配備している災害時グループウェアを活用した情報伝達訓練を以下のとおり実施した。

(1) 水害時を想定した情報伝達訓練

令和2年9月29日（火曜日）に区内27病院を対象に水害時を想定した情報伝達訓練を実施した。訓練当日は、24病院が参加し、災害時グループウェアの操作方法や情報伝達体制の確認を行った。

(2) 東邦大学医療センター大森病院及び品川区との情報伝達訓練

これまで、大田区と品川区がともに参加する訓練の機会がなかったため、令和2年11月21日（土曜日）に災害時における情報伝達訓練を実施し、品川区と共に東邦大学医療センターと円滑に情報連携が取れる体制の確認を行った。

(3) 大規模地震を想定した情報伝達訓練

令和2年12月2日（水曜日）に緊急医療救護所を開設する区内16病院を対象に大規模地震を想定した情報伝達訓練を実施した。訓練当日は、14病院が参加し、災害時グループウェアを使用した区と病院間の情報伝達方法の確認を行った。

(4) 情報伝達訓練から得た成果について

円滑な情報伝達体制を構築するためには、災害時グループウェアの使用方法的な明確なルールを示し、統一的な使用方法を確立していくことが重要であると認識できた。

2 大田区災害時医療フォーラムの動画作成について

(1) 目的

- ア 大田区が取り組んでいる災害医療体制について、WEB 配信すると共に、広く周知することを目的に作成した。
- イ WEB 動画に字幕を付けることにより、聴覚障がい者の方々に配慮した、動画を作成した。

(2) 動画配信方法

大田区ホームページに YouTube 「大田区チャンネル」 へのリンクをはり、令和 3 年 3 月中に配信する予定である。

(3) 講演会の内容

- ア 「大田区災害時医療の体制について」
講演者：大田区健康政策部災害時医療担当課長 上田 哲也
内容：緊急医療救護所等災害時における医療救護活動や災害時医療体制のグループ化等区の独自制度について。
- イ 「With コロナにおける災害対応」
講演者：小井土 雄一 氏（日本 DMAT 事務局長）
内容：ダイヤモンド・プリンセス号での医療救護活動やそこから得た感染症対策が避難所の運営方法に役立った経緯等について。
- ウ 「一般区民としての With コロナ生活へのアドバイス」
講演者：あんどろ りす 氏（アウトドア流防災ガイド）
内容：アウトドアスキルを活かしたアイデアや I T 知識を高め、災害時に正しい情報を収集することの重要性について
- エ 座談会「災害時における新型コロナウイルスの対応について」
司会：松本 賢芳 氏
(大田区災害医療コーディネーター、大森赤十字病院医療社会事業部長)